

# 平成 24 年度発達障害医学セミナー

「思春期から青年期における支援-日常から非日常まで-」



【日時】 2013 年 3 月 16 日 ( 土 ) ~ 17 日 ( 日 )

【場所】 青山学院大学青山キャンパス 17 号館 17311 教室 ( 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 )

【参加者】 97 名

【コーディネーター】 古庄 純一 ( 青山学院大学 教育人間科学部教育学科 )

【主催】 社団法人日本発達障害福祉連盟

## ■ プログラム

---

3月16日(土) 10:00-17:00

発達障害と思春期・青年期

古荘 純一(青山学院大学 教育人間科学部教育学科)

LD(学習障害)児の就労

宇野 彰(筑波大学大学院 人間総合科学研究科)

教育と地域との連携

高田 哲(神戸大学大学院 保健学研究科)

大学学生相談室における支援

松寄 くみ子(跡見学園女子大学 文学部臨床心理学科)

災害時の発達障害児への支援

福地 成(社団法人 宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター)

3月17日(日) 9:00-13:00

ひきこもりの支援

齊藤 万比古(国立国際医療研究センター国府台病院 精神科部門診療部)

発達障がい者への子育て支援

石川 道子(武庫川女子大学文学部 心理・社会福祉学科)

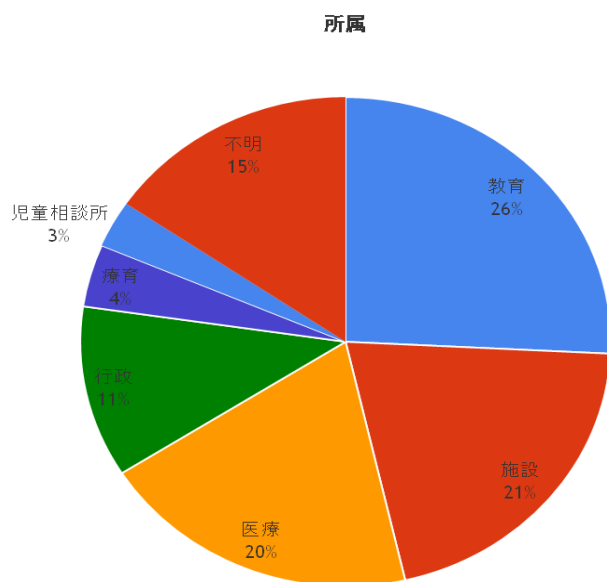
非行事例の理解と支援

藤川 洋子(京都ノートルダム女子大学 心理学部心理学科)

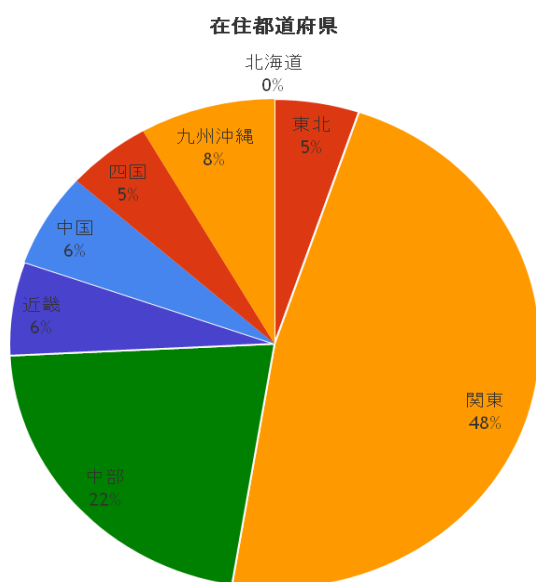
## ■ 参加者アンケート ( 回答 51 名 )

---

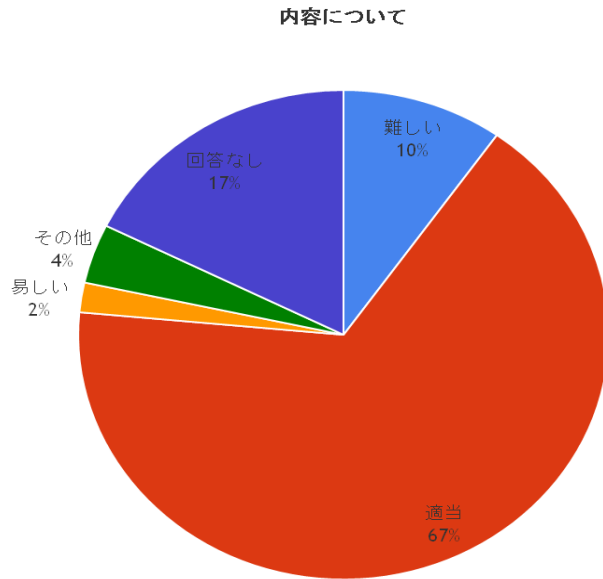
### ■ 所属



### ■ 在住都道府県

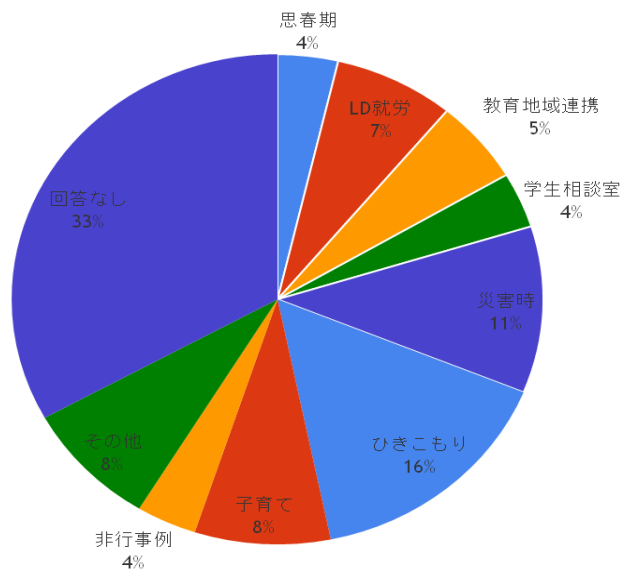


## ■ 内容について

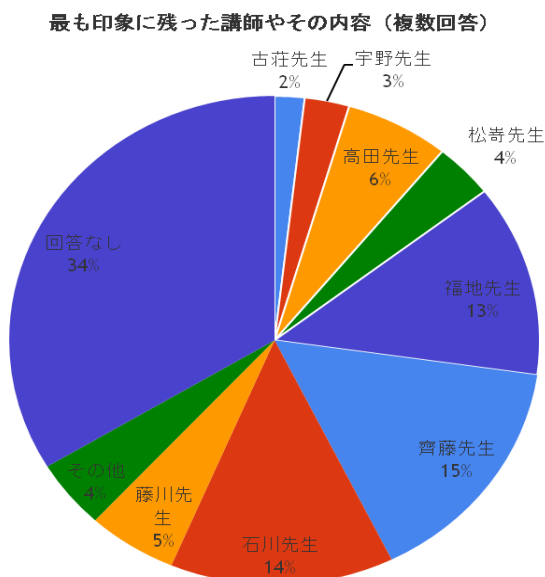


## ■ 最も関心が高かったテーマ

最も関心が高かったテーマ・内容(複数回答)



## ■ 最も印象に残った講師



## ■ 参加者の皆様からの声

- 「さまざまなテーマから経験や事例を交えた講演はとてもわかりやすかった」
- 「地域での活動、システム作りについては、地域でパッケージとして活用していけそう」
- 「被災地での障害児の過ごし方や実態はメディアでもよく聞いていましたが、リアルなお話を伺え、今後の課題が見えてきました」
- 「ひきこもりおよび思春期・青年期の発達障害者の心理について、具体的な例が多くわかりやすかった」
- 「子育て支援では今関わりを持つ母子が抱えている障害に対する理解を深めることができた」

## ■ 最後に

ご参加、ご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。  
情報が氾濫する社会の中で正しい情報の選択が難しい今、思春期・青年期の発達障害の人が直面する困難さ、心理的特徴の理解に努めていく必要性を確認できたセミナーとなりました。

なお、平成 25 年度発達障害医学セミナーのテーマは「発達障害のアセスメント」（仮題）で、2014 年 3 月に京都教育大学で開催予定です。